

施策番号	1002		
施策名	環境や社会に貢献できる農林業の育成		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに、観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど、農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

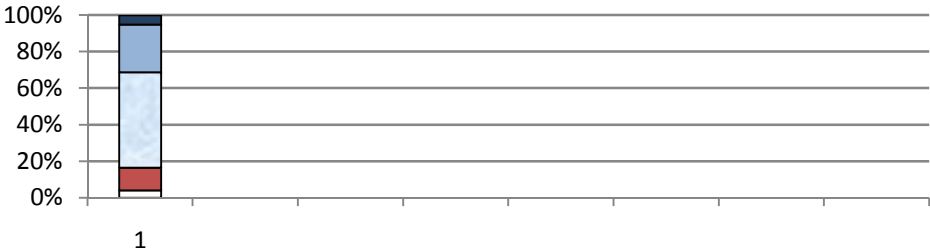
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	間伐面積(スギやヒノキの人工林における間伐面積)(ha/年)	-	-	535	1,182	1,000	118.2%	a	1.00
2	「京の旬野菜」供給量(t)	-	-	9,657	9,666	9,927	97.4%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	26	134	268	63	21	512	c
		5.1%	26.2%	52.3%	12.3%	4.1%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備等は、市民生活において実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度 -
(原因分析) ・客観指標評価は、森林整備に対する補助施策の効果的な推進と、雇用対策を活用した「京の旬野菜」直売所の設置により、目標値を概ね達成することができ、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、森林整備や「京の旬野菜」消費による環境負荷抑制効果が、市民生活において実感しにくい面があるため、c評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。						年度 -

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	園芸振興	50,157	53,579	かなり良い	産業観光局
2	家畜衛生防疫	6,251	6,481	普通	産業観光局
3	農業基盤整備事業	70,150	84,584	かなり良い	産業観光局
4	西山地区 里山環境再生事業	6,987	—	かなり悪い	産業観光局
5	森林等被害防止対策事業	41,656	69,299	かなり良い	産業観光局
6	木質ペレットストーブ等普及促進事業	7,386	22,386	普通	産業観光局
7	木質資源利用推進事業	0	5,298	—	産業観光局
8	京都市宇津峡公園	2,876	2,200	かなり良い	産業観光局
9	京都市京北森林公園	4,651	4,242	かなり良い	産業観光局
10	新農業水利システム保全対策事業	22,487	—	—	産業観光局
11	府営農業用河川工作物応急対策(久我井堰地区)	15,934	18,293	—	産業観光局
12	農業水利施設簡易ストックマネジメント	7,076	6,379	—	産業観光局
13	森の力活性・利用対策(森林バイオマス活用推進事業を含む。)	67,953	98,820	—	産業観光局
14	美しい京の山並み再生事業	93,114	104,566	—	産業観光局
15	四季・彩りの森復活プロジェクト	0	24,624	—	産業観光局
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・農林業の環境や社会に対する貢献度が高まり、市民にも実感されるよう、水源涵養機能や二酸化炭素吸収源としての森林の公益的機能や、「京の旬野菜」消費による環境負荷抑制効果とともに、農林業の持つ多面的機能について市民啓発を積極的に行う。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成										
指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）											
担当課	林業振興課		連絡先	2 2 2－3 3 4 6								
1 指標の説明												
本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積												
2 指標の意味				3 算出方法・出典等								
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標				出典：京都府林業統計								
4 数値												
	前回数値 20年度	最新数値 21年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度						
数値	535	1,182	647ha/年増	1,000	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度末の間伐対象森林面積（10,320ha）から、10年間で伐採するための各年度の目標数値を等差的に算出	118.2%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		10,320	31年度				京都市農林行政基本方針					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td></td><td></td><td>23</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>				23	-	-	a
		23										
-	-	a										

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）											
担当課	農業振興整備課		連絡先	2 2 2－3 3 5 2								
1 指標の説明												
京の旬野菜認定生産者による、フードマイレージの低い農産物の生産量（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）												
2 指標の意味				3 算出方法・出典等								
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境負荷の抑制状況を表す指標				事業担当課調べ								
4 数値												
	前回数値 20年度	最新数値 21年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度						
数値	9,657	9,666	9t増	9,927	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657t）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度11,000t）から各年度の目標数値を等差的に算出	97.4%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		11,000	31年度				京都市農林行政基本方針					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、農業者の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td></td><td></td><td>23</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>				23	-	-	a
		23										
-	-	a										